

二、日本の前途はどうか

日本でも不景氣は到底の國にも及びない。失業者は五百五十万と計算されてゐる。特に農村に於ては引續いた不景氣の結果肥料も入れられずいゝ種初もまかつたために東北、北海道その他金田圃る産地作ヤキンに見舞はれた。この不景氣を知れけ者働者農民の不景氣をきらすために資本家連立身は雇主側側を運届をつけて支那侵略の競争を有めたが競争によつて物價は騰貴し税金は増加し働者等は競争に奪はれた大衆の生活は益々悪くやつて来た。この有様には如何に本年秋もされて来た等働者農民もガマンする事か出来ず不平不満を燃発として競争に立ち上つてゐる。毎日の新聞を展ても必ずある農民階級のうち土地運送反對のものは一二年中五割以上に上りそれのみならず税金、借金、割当賃金、買値料(肥料等)等に競争も激化してゐる。五三年に入つてから新調ては七人て五百名も動員し、秋田に於ても又大衆的な借金競争が激化し

てゐる。之等の競争は官商との大風潮、投機、倒産、裁判所等への攻撃とまでなつてゐることは明らかだ大衆の革命的奮闘努力を収すものである。田舎も激化してはそれと本然倒産する大衆化へと導向しつゝあることは極めて明白です。現存してゐる。朝鮮、臺灣、滿洲等日本帝國主義の侵略の下にゐる諸民族の競争も既に血と汗を以て争育育の激化を遂して居る。我々の朝鮮、滿洲の農民は朝鮮國に於けるペンタの反故、國民に於ける暴動を風よ。

(3) 農村青年の育成問題

以上の如き競争から居ても農村青年の教育は凡そ無意味である。大地主や官商の子弟はたゞ一層富にしようとする教育を知らず高等教育をうけてゐるが、農民は如何にも教育無き一層に野良に働かざるを得ない。不景氣は益々悪く競争を、ペンタより文化教育も無きままに競争せしめるが、これ等の教育も次第に少なくなり去く半農青年の教育に中央青年も次第にペンタより一層に競争し